

令和4年度 第3回美作支部司書部会記録

日時	令和4年11月25日(火) 13:30~16:30		
場所	津山高校図書館		
参加人数	8校(欠席:作陽高校、勝山高校)		
進行	真庭高校	記録	津山工業高校

■研修(13:30~14:50)

①館内展示について

今年度より運用開始の「学校巡回展示」の制度を活用しての研修。岡山県立図書館協力班の職員の方を講師としてお招きし、図書館内に展示コーナーを設置する際のポイントなどをお聞きした。

展示テーマ:「定番絵本」「冬の絵本」「教員向け図書」

- ・絵本の展示は面出しを多くすると生徒の反応がよい
- ・利用者の視線の動きを意識した配置を意識する
- ・簡単な展示のサインなどは協力班で作成することも可能(事前に電話で相談)
- ・学校セットの内容等に関する要望は協力班まで

②蔵書点検について

岡山朝日高校作成のスライドを教材として使用。現在の美作支部のメンバーでは商業高校のみ蔵書点検の経験あり。

- ・蔵書点検を行う前には各種データ・バックアップを取っておくことが重要
- ・作業効率に関わるので、装備の際にバーコードを貼る位置を統一しておく

③館内レイアウト・配架区分について

実際に使用している館内図を持ち寄り、各校の館内レイアウトの事例を紹介した。また各校が使用している配架区分について事前にアンケートを取り、津山高校作成の資料に基づいて情報交換を行った。また真庭高校の配架区分の整理についてアイデアを出し合った。

- ・新書、文庫、進路関係、岩波ブックレット、絵本、マンガ、ライトノベルなどは別置が多い
- ・一目で別置本だと分かる工夫が必要。特に生徒に配架を依頼する際は配架ミスが起きやすい
- 別置の目印:ライブマックスの別置記号(B、Sなど)、シール、背ラベルの色を変更 など
- ・蔵書検索画面でも別置本だと分かる工夫があると本を探しやすい(生徒はなかなか本のサイズで配架場所を判断することができない)
- ・図書館以外の場所(職員室、保健室、相談室など)で保管する書籍の扱いについて
- 生徒が直接利用する機会は少ないので、PTA費での購入ができない
- 蔵書点検の際には一度回収するか、もしくはバーコードを読み取りに行かなければならない
- 紛失等の管理ができない
- 各校の実態に応じた運用を(蔵書として登録しない方がすっきりする場合も)

■協議および連絡（15:10～16:30）

①今後の研修について

第4回の司書部会は2月17日に津山東高校で開催する。

（ネット研より）現段階では来年度は第1回～第3回まで合同司書部会となる予定。

②美作支部図書委員会交流会について

7月に開催した図書員会交流会について、アンケート結果の振り返りを行った。大きな問題はなかったが、グループの分け方などを今後の課題とする。

来年度以降、市立図書館と連携したイベント型の交流会の実施については今後アンケート等も取りつつ検討していく。実施する場合は当日の運営がスムーズにいくよう、事前に司書の役割分担を決めておく。

③SLAより

- ・R5年度玉野大会について

講師案を検討

- ・大会運営ローテーションについて

現在の美作支部にはSLA大会の経験者がほとんどおらず、また来年度からは作陽高校も移転するため動くことのできる人数も1名減となる。理事会の意向に従いつつ、できる協力をしていく。

→12月5日のSLA理事会で支部担当校（津山工業）が取りまとめ意見として提出する。

④その他

- ・津山高校より

12月13日（火）に学校図書館部会美作支部研究協議会が開催される。

「高校生への本の魅力の伝え方」というテーマで高見京子氏（全国SLA学校図書館スーパーバイザー）が講演予定。ビブリオバトルも開催される。司書も積極的な参加を。

- ・おすすめ本の紹介（ブックログ）

テーマ：絵本、教員向けの本

『おおきな木』シェル・シルヴァスタイン／あすなろ書房

『ぼく』谷川俊太郎／岩崎書店

『もじゃもじゃペーター』ハインリッヒ・ホフマン／ほるぷ出版

『ごちゃまぜカメレオン』エリック・カール／偕成社

『すきっていわなきやだめ？』辻村深月／岩崎書店

『二番目の悪者』林木林／小さい書房

『アドラー心理学こころの相談室』岩井俊憲／三笠書房

『教師と学校の失敗学』妹尾昌俊／PHP研究所

『まちの風景をつくる学校』森山円香／晶文社

『失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック』新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム／小学館